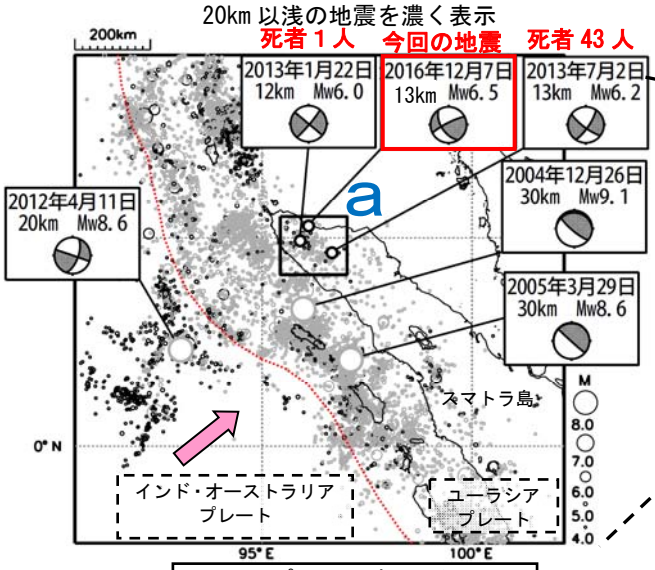
12 月７日　インドネシア、スマトラ北部の地震

2016 年 12 月 7 日 07 時 03 分（日本時間、以下同じ）にインドネシア、スマトラ北部の深さ 13km で Mw6.5 の地震が発生した。この地震は、ユーラシアプレート内部で発生した。この地震の発震機構（米国地質調査所、以下 USGS による CMT 解）は、南北方向に圧力軸を持つ横ずれ断層型であった。この地震により死者 104 人などの被害が生じた。

2000 年１月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域ａ）では、今回の地震と同様にユーラシアプレート内部でＭ６を超える地震が２回発生していて、今回の地震が最大規模の地震である。

1963 年１月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域 b）では、インド・オーストラリアプレートがユーラシアプレートの下に沈み込んでいて、これに伴って、Ｍ７を超える地震が時々発生するなど非常に活発な地震活動がみられる。また、2004 年 12 月 26 日のスマトラ島沖地震（Mw9.1）の発生以降、周辺でより地震活動が活発になっており、被害や津波を伴った地震が多く発生している。

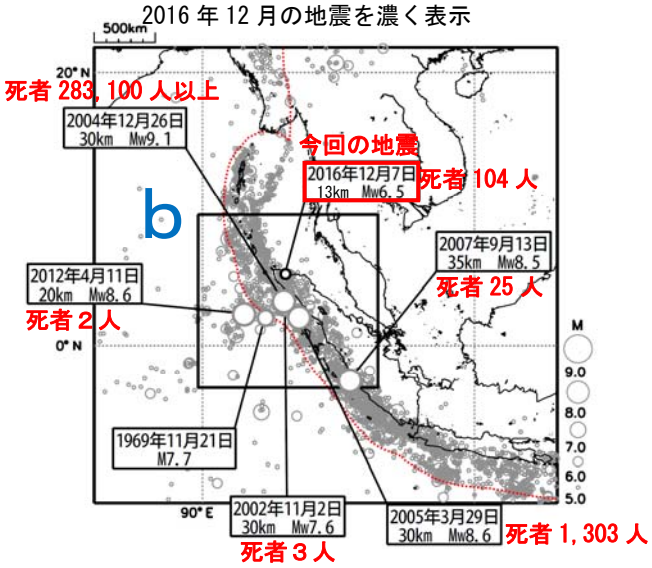
震央分布図
（2000 年１月１日～2016 年 12 月 31 日、
深さ０～100km、M≧4.0）
20km 以浅の地震を濃く表示



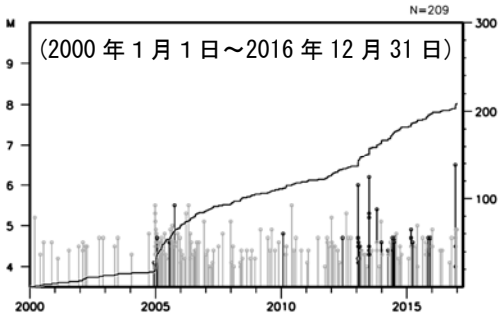
プレートの進行方向は、ユーラシアプレートを固定した場合の相対的な方向である。

プレート境界の位置
プレートの進行方向

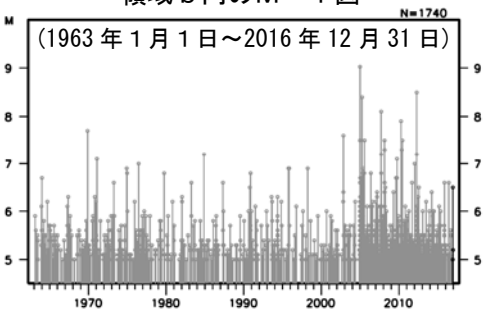
震央分布図
（1963 年１月１日～2016 年 12 月 31 日、
深さ０～200km、M≧5.0）
2016 年 12 月の地震を濃く表示



領域ａ内のＭ－Ｔ図及び回数積算図



領域ｂ内のＭ－Ｔ図



※本資料中、震源要素及び今回の地震の Mw 及び発震機構は USGS による。2012 年４月 11 日の地震（Mw8.6）の Mw 及び発震機構は気象庁、2004 年 12 月 26 日の地震（Mw9.1）のＭは理科年表、その他の地震の吹き出しの Mw 及び発震機構は GlobalCMT による。今回の地震の被害は、OCHA（UN Office for the Coordination of Humanitarian Affairs：国連人道問題調整事務所）による（2016 年 12 月 20 日現在）。2004 年 12 月 26 日の地震の被害は USGS、その他の地震の被害は、宇津の「世界の被害地震の表」による。プレート境界の位置と進行方向は Bird（2003）*より引用。

＊参考文献　Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, Geochemistry Geophysics Geosystems, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.